

庄原市の魅力を全国へ発信 NHKBS放送公開録画

NHK広島放送局開局80周年を記念して、市とNHK広島放送局は5月11日、市民会館で衛生第2テレビの番組「行くよ！後輩 ほいきた！先輩」の公開録画をしました。

この番組に、地元から庄原格致高校写真部、郷土料理研究家、西城町の刀鍛冶、高野町の雪合戦チームが出演。先輩と後輩を切り口に、タレントの松本明子さん、マギー審司さん、歌手の石原詢子さんと楽しいトークを展開しました。



ワニの詞を披露する小林富子さん(左から2人目)

郷土料理研究家の小林富子さんが「庄原にワニ料理を食べべにさんさい」と呼びかけたり、広島県雪合戦連盟の根波裕治さんが「日本一の雪合戦チームを育てたい」と語ったり、庄原市の魅力や人と人の結びつきの素晴らしさを全国に発信しました。この公開録画は、NHK衛生第2テレビで、6月14日(土)18時から18時53分に放送される予定です。
(市民会館)

「げんき」と「やすらぎ」のまちへ 笑顔いっぱい！健康福祉まつり



笠原武吉さんが元氣よく健康宣言



健康状態をチェック

健康や福祉の意識を高めようと、市と市教育委員会は5月25日、庄原市保健センターなど5会場で、2008健康福祉まつりを開催しました。市内で活動している52団体が参加。今回は、高校生も加わり、庄原格致高校写真部や庄原実業高校の地域活性化プロジェクト研究チームの参加もありました。会場では、健康や福祉をテーマに、パネル展示や活動発表、

バザーやスポーツ大会など、各種イベントが行われ、約2,000人の来場者でにぎわいました。来場者は、医師と看護師による健康チェックや相談コーナーで、健康管理の大切さを改めて認識したり、各種団体のいきいきとした活動発表から元気をもらったりしていました。
(保健医療課)

綿陽市の復興を願う 四川大地震に募金活動



四川大地震が5月12日に発生し、市が友好協力協定を締結している四川省綿陽市でも多大な被害が発生しています。

市は、甚大な被害を受けた綿陽市の一日も早い復興を願い、5月14日から18日までの5日間、市街地のショッピングセンターで募金活動をしたほか、東城のショッピングセンター

や健康福祉まつりでも行いました。多くの皆さんにご協力をいただき、5月26日現在で約70万円の募金が集まりました。ご協力いただいた皆さんに感謝し、厚くお礼申し上げます。この募金は、被災者の支援活動に使用するため、募金の際にご記入いただいた名簿と合わせて綿陽市へ送金します。

また、市内の各種団体から市長へ義援金が届けられるなど、支援の輪が広がっています。これからも、市役所本庁や各支所の窓口などに募金箱を設置するほか、各種イベントなどで募金活動を継続していきます。

多くの皆さんのご協力をお願いします。

(企画課)

「庄原産直市」新店舗オープン 農産物の販売体制を充実

6月7日、「庄原産直市」が広島市安佐南区八木へオープンします。

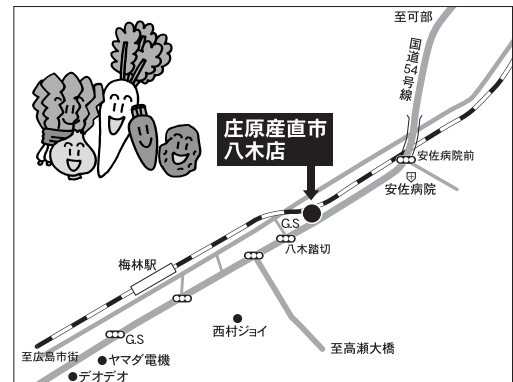
この「庄原産直市」は、(株)庄原市農林振興公社が直営店舗として新たに営業を開始するものです。これまで広島市南区江波で営業していた店舗を移転し、店舗スペースや駐車場を拡大するなど、農産物の販売体制を充実させ、農家所得の向上を目指します。

(株)庄原市農林振興公社では、農産物などの出荷者を募集しています。出荷を希望する方は、☎0824-72-5090までご連絡をお願いします。

(政策推進課)

庄原産直市八木店 (☎082-873-7700)

- ・住所 広島市安佐南区八木5-4-5
- ・営業時間 9時30分～18時
- ・定休日 なし



申請は、これからも随時募集します。がんばる農業支援事業補助金のお問い合わせは、農林振興課農業振興係(☎0824731132)または各支所地域振興室まで。(農村振興課)



審査会の様子

さとやまバスツアーが盛況 広島市から庄原市へ年間100便



りんごの花見ツアーを楽しむ

庄原市の魅力を発信し、地域の活性化を図るため、3月にスタートした「しよばらさとやまバスツアー」が好評です。

庄原市観光キャンペーン実行委員会は、これまで5つのツアーを企画し、11日間で延べ約500人の参加がありました。

中でも、4月23日の「しだれ桜と田舎料理バイキングを堪能する旅」には、これまでで最高の86人が応募。「また参加したい」「次のツアーはいつ?」などの声が多く、リピーターも増えています。

このバスツアーは、広島市から年間100便を予定しています。募集チラシは、広島市内の「夢ぶらざ」や「たび館」などに置いてあります。

次回は、比婆山や帝釈峡のツアーを計画中です。

(商工観光課)

庄原市が3年連続受賞 全国広報コンクール



地域農業を特集した「広報しょうばら」12月号

平成20年全国広報コンクール(社団法人日本広報協会が主催)の審査会が行われ、本市の「広報しょうばら」12月号が広報紙(市部)の部門で第9席に入選し、3年連続の受賞に輝きました。

コンクールには、各都道府県の代表作品58点が応募。企画内容や文章力、レイアウト、表現力などが審査され、「きめの細かい企画と創造的な編集が実現されている」と高い評価を受けました。

広報紙は、皆さんからの情報があって作られます。貴重な時間を割いて取材に応じた皆さんのはじめ、ご協力いただいた全ての皆さん、ありがとうございました。

これかも、市の課題を取り上げ、まちづくりに貢献できる広報紙づくりを目指していきます。

(企画課)

みんなで咲かそう「人権の花」 「人権の花」贈呈式

市は、市内の全小学校へ「人権の花」を配布しました。

この運動は、児童が配布した花の種を育成する中で、協力や感謝することの大切さを学び、思いやりの心や人権思想を育むことを目的として、毎年実施しています。

本年度、人権教育開発事業の指定を受けた口北小学校(児童35人)では、4月21日に贈呈式を行い、人権擁護委員の増原豊さんから花の種と肥料を受け取りました。

増原さんは「花という漢字は草が化けると書いたものが変化してできた。きれいな花に化けるよう、みんなで大切に育てよう」と、人権を守ることを呼びかけました。

(口和支所市民生活室)



子どもたちに人権の大切さを話す増原さん

がんばる農業支援がスタート 第一回補助金審査会

がんばる農業支援事業補助金の第一回審査会を、5月12日に開催しました。

この補助金は、庄原市が目標としている「農業所得10%アップ」に向け、営農意欲があり農畜産物を販売する農業者を幅広く支援する制度として、本年度新たに創設しました。

審査会では、市やJA庄原の担当者、営農指導員など、6人の審査委員が4月に申請された書類を審査。協議の結果、7件に補助金の交付が決まりました。

申請は、これからも随時募集します。がんばる農業支援事業補助金のお問い合わせは、農林振興課農業振興係(☎0824731132)または各支所地域振興室まで。(農村振興課)